

2015年度
人事研究会

今こそ キャリア開発を見直す



「キャリア」と言うと人によっては様々なイメージを持つが、ここでは従業員に代表される個人の視点から「仕事生活が時とともにどのように発達してきたのか、また本人がそれをどの程度自覚しているのか」と定義します。このキャリアを、組織としてどのように支援していくかが「キャリア開発」です。

企業活動においては、組織の目標達成を念頭においた制度や配置とへの取り組みが中心でした。一方、過去の研究におけるキャリアの考え方は、「個人のキャリア発達」を中心に行われてきました。産業の高度化や、環境の複雑さにより企業は様々な対応を与儀なくされています。このような中で、企業が積極的にキャリアの視点で、人材開発に取り組む機運が高まっています。

2015年度の人事研究会では、上記における組織側の皆様にお越しいただき、「(人事部門が主として取組む)組織によるキャリア開発」という視点に加え、「(従業員に代表される)個人によるキャリア発達」の視点についても踏まえていただきます。この中でキャリア開発に関する新しい研究を学び、実際の企業の取り組みについて情報交換を行うことで、現状の取り組みについて見直していただく契機としていただきます。

コーディネータ 神戸大学大学院 経営学研究科 金井壽宏 教授



日本の経営学を牽引する、組織行動研究の第一人者。変革型のリーダーシップ、創造性となじむマネジメント、働くひとのキャリア発達、次期経営幹部の育成、組織変革・組織開発、人事部の役割、研究とつながる教育・研修のあり方(リサーチ・ベースト・エデュケーション)を主としている。

■現在の役職／神戸大学社会科学系教育研究府長・経営学研究科教授(兼務)

■経歴／1980年神戸大学大学院経営学研究科修士課程を修了
1989年M I TでPh.D.(マネジメント)を取得
1992年神戸大学で博士(経営学)を取得

■主要著書／「組織エスノグラフィー」(有斐閣、共著10年)。「組織行動の考え方」(東洋経済新報社、共著04年)「キャリア・デザイン・ガイド」(白桃書房 03年)、「働くひとのためのキャリア・デザイン」(PHP研究所、02年)「企業者ネットワークの世界」(白桃書房 94年)、「ニューウェーブ・マネジメント」(創元社 93年)「変革型ミドルの研究」(白桃書房 91年)等多数。

コーディネータ 神戸大学大学院 経営学研究科 平野光俊 教授



約20年間の人事や社の戦略企画としての経験を研究に落としこみ、理論だけでなく、実務に則した研究を行っている。戦略的人的資源管理、日本型人的資源管理の制度分析、人材ポートフォリオ、キャリア開発論、ダイバーシティ・マネジメントを主たるテーマとしている。

■現在の役職／経営学研究科 教授

■経歴／1980年 ジャスコ(現イオン)株式会社 入社
1996年 近畿カンパニー人事部長
1998年 神戸大学で博士(経営学)を取得
2000年 本社経営企画室次長

■主要著書／「現代人的資源管理—グローバル市場主義と日本型システム—」(中央経済社 共著 14年)「多様な人材のマネジメント」(中央経済社 共著 14年)「入門人的資源管理 第2版」(中央経済社 共著 10年)「キャリア開発と人事戦略」(中央経済社 共著 04年)「キャリア・ドメイン—ミドル・キャリアの分化と統合」(千倉書房 99年)等多数。

2015年度人事研究会「今こそキャリア開発を見直す」

2015年
第1回 9月15日(火) 17:00-20:00

個人のキャリア発達と組織によるキャリア開発

～個人の生涯発達、時代・社会におけるライフコース、
組織・人事によるキャリア発達支援のトリロジー(三重奏)～

コーディネーター

神戸大学大学院 経営学研究科 教授 金井 壽宏氏

人事部門が主として取り組む「組織によるキャリア開発」に加えて、従業員に代表される「個人によるキャリア発達」という視点からもキャリアを捉え、今の時代・社会において組織が、個人のキャリア発達をどのように支援していくのかについて金井教授の研究内容からお話していただきます。その内容を踏まえ、自社のキャリア開発の取り組みについて振り返りを行うことで、自社の課題について想起する契機としていただきます。



2015年
第2回 10月13日(火) 17:00-20:00

女性のキャリア開発

コーディネーター

神戸大学大学院 経営学研究科 教授 平野 光俊氏

昨今、多くの企業が「女性社員の活躍とその場の拡大」に取り組んでいます。一方、制度上の問題に加え、その多くが男性社会であることからの偏見が、取組の促進に対しての阻害要因になっているという現状があります。これからの組織がどうすればそれらの問題を乗り越え、目指すべき姿を実現できるかについて「働きがいと働きやすさ」の観点から考える契機としていただきます。



2015年
第3回 11月9日(月) 17:00-20:00

キャリア開発における問題解決の実例

ゲスト

元 伊藤忠商事株式会社人事・総務部キャリアカウンセリング室室長
現 浅川キャリア研究所所長 浅川 正健氏

日本を代表する総合商社である伊藤忠商事は、2002年に民間企業としてはじめて、従業員に対してキャリア支援を行う社内組織(キャリアカウンセリング室)を立ち上げました。浅川氏はこのキャリアカウンセリング室を立ち上げるために、CDAというキャリアカウンセラーの資格を一期生で取得して、社内の説得に回り、初代キャリアカウンセリング室の室長として社内における組織の定着に寄与されました。同氏にはキャリアカウンセリング室をどのように創り上げ、悩み、工夫し、相談し、解決し、それを仕組みにしていっただかについてお話していただきます。この話を踏まえ、自社においてあらたな取り組みをはじめる際の経営層とのコミットメントを引き出すプロセスや、キャリアカウンセリングに見られるように従業員の「キャリア発達」へのアプローチについて考える契機としていただきます。



第4回

2015年

12月19日(土) 10:00 - 16:00

キャリア開発と人材育成戦略の実際

ゲスト

八木氏は、LIXILグループにて「次の社長を育てる」をコンセプトに、海外でも戦っていける優秀な人材を積極的に発掘・育成・活用するための仕組みづくりを実施しています。このような次世代リーダー育成の実情について表裏両面からお話していただきます。

また、高橋教授より、上昇志向を持ち、出世や報酬の目標に向かって計画的にキャリアアップしていくのではなく、自分なりの働き方などプロセスやポリシーを重視する、「スローキャリア」の思考を持った社員が増えている現状について話をさせていただきます。

八木氏の「組織によるキャリア開発」について、また高橋教授の「個人のキャリア発達」についての話を聞き、自社の組織・従業員の考え方はどうか、乖離は無いのかについて考える契機としていただきます。

株式会社LIXILグループ
執行役副社長
人事総務担当
八木 洋介氏



慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科
特任教授
高橋 俊介氏



第5回

2016年

1月19日(火) 17:00 - 20:00

これからのキャリア開発における方向性

ゲスト

同志社大学 政策学部 教授 太田 肇氏

今後のキャリア開発の考え方や方向性について、太田教授は、現状多くの企業に残る価値観である「量的な頑張りを良しとする風土」からの転換が必要であると唱えます。これまでの働き方と今後に求められる働き方の違いについて、企業の実例を基に話していただき、今後、自社のキャリア開発の方向性につきどのように進めていくのかを考える契機としていただきます。



※テーマ、内容につきましては、お招きするゲストにより、変更することがございます。あらかじめご承知おきください。

開催概要

料金

97,200円

(本体価格 90,000円・消費税 7,200円) / 社・2名まで

対象者

経営者の方、管理者の方、人事部門の方

申し込み方法

下記に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

道順

- JR「神戸駅」、地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」から徒歩3分
- 阪急電鉄「高速神戸駅」から徒歩1分
- 市営地下鉄「大倉山駅」から徒歩7分

お問い合わせ先

株式会社神鋼ヒューマン・クリエイト 人事研究会事務局 阪口

